

自：2025年4月 1日

至：2026年3月31日

1. 全体の概況

2025年度の国内経済は、米国のトランプ第2次政権による関税引上げへの警戒や年度末の中東情勢緊迫化に伴う原油高という外部からの逆風にさらされることとなりましたが、一方で継続的な賃上げとAIやDX投資を中心とした設備投資拡大という内需の好循環、そして日本初の女性首相となった高市政権による財政拡大路線への転換が下支えして実質GDP成長率が約+1.0%と粘り強いプラス成長を維持しました。

また大阪府の経済市況については、2025年4月13日より184日間にわたって開催された「大阪・関西万博」による万博特需が爆発的な起爆剤となりました。全国における経済波及効果が約3.6兆円となる中、大阪府で2.1兆円に達すると見込まれ、インバウンド消費、観光・宿泊、飲食、交通インフラ部門が驚異的な伸長を記録し、実質GRPは約+3.0%と全国平均を3倍近く上回る高成長を達成しました。

万博がもたらした巨大な宿泊需要により、大阪府の宿泊市場は全国トップクラスの活況を呈することとなりました。万博期間中は宿泊者数も前年対比2桁増のペースで推移し、期間終盤の9～10月は80～90%の超高稼働が連日続くなど、客室稼働率も全国1位となりました。期間中の日本人宿泊者数は前年対比約15%増となり、外国人宿泊者数はホテルの満室問題や単価高騰の影響で他府県に分散したものの円安や万博目的の宿泊により前年対比約10%増となりました。

しかしながら万博後には万博特需が完全に消失したことに加えて、2026年2月以降は中東情勢緊迫化に伴う経済の不透明感やインバウンドの頭打ちが重なり後半の数か月は宿泊者数も前年を下回る月が続き、2025年度としては大阪府の延べ宿泊者数は約2%程度の微増と見込まれています。そのため万博期間の週末や後半には通常時の2.5倍から3倍の価格となっていた宿泊料金がその後は大幅な値下げとなりましたが、万博特需を見込んだ大阪市内の新規ホテルや民泊による供給増が閉幕後の供給過多につながり、更なる価格の押し下げの要因となっています。ユースホステルは価格面の優位性も特徴の一つとして挙げられますが、今後、周囲の宿泊施設の価格には十分に注意を払う必要があります。

2025年度、大阪ユースホステル協会が運営する4つの施設での宿泊者数は98,719名となり前年度から6,545名、約7%の増となりました。上半期は新大阪や長居、羽衣についてはそれぞれの影響度が異なるもののプラスの万博特需がありましたが、学校団体利用が多い貝塚にとっては学校や団体行事の万博への差し替え、またバス代高騰やバスの確保の困難さによる取りやめなどでマイナス要因として大きく働き、協会計では前年対比5%増で終わりました。一方で下半期に入ると貝塚が復調してくるとともに元々団体客比率が高い羽衣、長居のポスト万博を見据えた営業活動が功を奏し、2桁増で着地することができました。

施設利用者数については、さまざまな行事が万博見学にシフトしたと考えられる上半期から、下半期についても大きく上げることができず年間で前年を下回る結果となりました。日帰り利用は近隣の方に使っていただくことも多いため、宿泊部門とは異なる営業活動や広報を用いて施設の訴求を行うと共に近隣の方に愛される施設を目指します。

協会の目的であり、ユースホステル運動の基本となる「青少年の健全育成」のために、新大阪、羽衣、貝塚、長居の4つの施設をそれぞれの特性を活かしながら運営してまいりました。またより多くの利用者に活用いただくために学校団体や青少年団体以外にシニアや企業、支援学校等や海外に向けても様々な発信を進めてま

⑤ 宿泊者数の実績 (1～12月)

(単位:人)

	2025年	2024年	前年比
全国計	279,951	265,929	105.3%
大阪府下計	51,501	46,209	111.5%
大阪 YH 協会計	50,927	42,983	118.5%

2019年 全国計319,908人 大阪府下計53,523人 大阪 YH 協会計42,693人

④⑤は日本ユースホステル協会 5月15日現在集計による

⑥ 賛助会員 (法人21社214口)

大阪運輸倉庫株式会社	大阪ガス株式会社
公益財団法人大阪観光局	一般財団法人大阪ボーイスカウト振興協会
株式会社大林組	寿不動産株式会社
サントリーホールディングス株式会社	サントリー興産株式会社
サントリーコーポレートビジネス株式会社	学校法人清風明育社
株式会社銭高組	ダイキン工業株式会社
大日本除虫菊株式会社	株式会社竹中工務店
東洋製罐株式会社	西日本旅客鉄道株式会社
日本生命保険相互会社	パナソニックホールディングス株式会社
美津濃株式会社	株式会社三井住友銀行
株式会社モンベル	

2. 新大阪事業部

(大阪市立青少年センター・新大阪ユースホステル・ココカフェ)

インバウンド需要の伸びと、大阪・関西万博の開催で、宿泊については大きく利用者数が伸びました。一方で、施設利用はわずかに前年に及ばずレストラン部門は低調と明暗を分けた1年となりました。

文化ゾーンの利用料金・利用率ともに前年比約98%で前年実績を上回ることができませんでした。ホール稼働は利用率約101%と微増となりましたが、多くの方が万博へ行かれることで当施設を利用しでの集会や勉強会等を減らしたこと、および研修会等の主催者において集客が困難だったことが原因とみています。利用促進および減少傾向を打開のため、新たな顧客獲得に向けた営業活動、および公共施設へのDM送付やSNSを活用したキャンペーン等の広報対策を実施しました。これらは新年度においても継続して行っています。

事業では、青少年事業として近隣の子ども達を対象に安価で朝食を提供する「キッズカフェ」は、開催日を毎週日曜日に変更することで参加しやすくなり、参加者数が増加しました。昨年度から自主事業として実施している「相手に伝わる表現を習得するワークショップ」は、スキルに応じた2コースでの開催とし、3月の発表会も盛況で、参加者の充実度は増しました。

宿泊ゾーンは、万博開催により個人・団体共に多くの宿泊利用があり、目標を達成し前年比約111%となりました。朝食の提供数も約10%増となりました。しかし万博終了後は特に個人利用の減少が顕著でした。関係悪化で中国からの来日が減り、近隣ホテルの料金が下がったことも影響しました。

ココカフェはランチについては営業を行いましたが、人員配置の関係でスタッフは新大阪ユースホス

③ 利用状況

大阪市立青少年センター

(単位:人、%)

	利用コマ数	前年比	利用率	人数	目標人数
4月	2,869	98.0%	41.3%	12,865	12,500
5月	3,307	116.5%	46.0%	13,495	12,500
6月	2,848	92.6%	40.9%	12,778	13,000
7月	2,926	92.2%	40.7%	12,994	14,500
8月	3,298	105.3%	45.8%	14,377	14,000
9月	3,004	90.5%	43.2%	12,690	14,000
上半期計	18,252	98.8%	43.0%	79,199	80,500
10月	3,150	93.0%	43.8%	13,701	14,800
11月	3,097	92.9%	44.5%	15,137	15,000
12月	2,757	95.2%	41.1%	12,349	14,000
1月	2,570	92.0%	41.2%	10,324	11,200
2月	3,073	103.9%	47.5%	12,600	13,500
3月	3,178	100.3%	44.2%	13,564	14,000
下半期計	17,825	96.2%	43.7%	77,675	82,500
合計	36,077	97.5%	43.4%	156,874	163,000

利用コマ数 : 2025 年度 36,077 コマ(前年比 97.5%) 2024 年度 37,003 コマ

利用人数 : 2025 年度 156,874 人(前年比 941%) 2024 年度 166,658 人

2018 年度利用コマ数 53,634 コマ 2025 年度対 2018 年度比 67.3%

2018 年度利用人数 243,850 人 2025 年度対 2018 年度比 64.2%

新大阪ユースホステル

(単位:人、%)

	目標人数	前年人数	当年人数	前年比	内団体人数	団体数
4月	1,500	1,792	1,838	102.6%	925	39
5月	1,550	1,484	2,241	151.0%	1,277	49
6月	1,300	1,224	1,878	153.4%	996	49
7月	1,850	1,724	1,866	108.2%	1,052	54
8月	2,500	2,004	2,712	135.3%	1,874	67
9月	1,450	1,315	1,760	133.8%	807	51
上半期計	10,150	9,543	12,295	128.8%	6,931	309
10月	1,450	1,373	1,571	114.4%	858	35
11月	1,500	1,423	1,262	88.7%	832	28
12月	1,550	1,426	1,243	87.2%	732	35
1月	1,100	1,034	839	81.1%	473	20
2月	1,250	1,265	1,025	81.0%	735	32
3月	2,000	2,109	1,974	93.6%	1,215	51
下半期計	8,850	8,630	7,914	91.7%	4,845	201
合計	19,000	18,173	20,209	111.2%	11,776	510

外国人利用者:2025 年度 5,099 人(前年比 83.1%) 2024 年度 6,138 人

日本人利用者:2025 年度 15,110 人(前年比 125.6%) 2024 年度 12,035 人

団体:2025 年度 510 組 11,776 人 構成比 58.3%(前年比 90.8%) 2024 年度 514 組 12,974 人 構成比 71.3%

個人:2025 年度 8,433 人 構成比 41.7%(前年比 162.2%) 2024 年度 5,199 人 構成比 28.7%

予約サイトからの予約件数: 2025 年度 1,677 件 3,585 人 2024 年度 1,094 件 2,510 人

加盟予約サイト: 楽天トラベル、じゃらん、Yahooトラベル Booking.com

2018 年度利用者数 20,412 人 2025 年度対 2018 年度比 99.0%

- ・相手に伝わる表現を習得するワークショップ
(4月～12月 毎月1回 第3火曜日、3月発表会実施とその稽古のため1月～3月毎週火曜日)
参加延べ134人(予定120人)
- ・KOKO de Concert Vol.1(9月・12月・3月) 参加延べ 66人(予定135人)
- ・KOKO ハモディーンズ Sing Out ワークショップ(5月～11月 月1回)
参加延べ 22人(予定70人)
- ⑥ 新大阪ユースホステル・宿泊者へのサービス事業
 - ・投扇興 参加延べ21人(4月・12月)
 - ・茶道体験 参加延べ65人(4・5・6・11・12月)
 - ・投扇興とコマ体験 参加延べ34人(5月・12月)
 - ・似顔絵 参加延べ67人(5月・10月)
 - ・浴衣着付け体験 参加10人(6月)
 - ・ウクレレ演奏 参加延べ209人(6・7・8・9・10・1・2・3月)
 - ・年越しぜんざい 参加37人(12月)
 - ・初詣 参加10人(1月)
 - ・和楽器コンサート 参加20人(1月)
 - ・しおりづくり 参加16人(11月)
 - ・ピアノ演奏 参加 2人(3月)
- ⑦ 新大阪ユースホステル・キャンペーン等
 - ・小中学生プラン 69件 254名
 - ・ライブ観劇プラン 42件 44名
 - ・スポーツ観戦プラン 12件 12名
 - ・夜行バスプラン 39件 54名
- ⑧ ココカフェ・自主事業
 - ・フォークソングナイト 5月 25人、7月 19人、9月 30人
11月 20人、1月 24人、3月 27人
- ⑨ ボランティアリーダーに関すること
 - 「KOKO ボランティア」登録者5名
 - 子ども向け事業のサポートを中心に活躍

3. 羽衣事業部 (大阪国際ユースホステル・羽衣青少年センター)

継続して実施してきたリピーター層の掘り起こしと、問い合わせを予約につなげる地道な努力が実を結び、目標の20,000人には届かなかったものの、宿泊者数は前年より3,096人増(119%)となりました。特に8月の3,000人超えは5年ぶりの記録であり、11月・12月・1月の3か月については、前年比でそれぞれ150%を越えました。

大阪ユースホステル協会運営の他施設に比べて「万博効果」はさほど顕著ではありませんでしたが、脱コロナの新しいニーズと施設のポテンシャルがニーズと合致してきたものと思われます。

③ 利用状況

大阪国際ユースホステル(宿泊)

(単位:人、%)

	目標人数	前年人数	当年人数	前年比	内団体 人数	団体数
4月	2,300	1,548	1,955	126.3%	1,837	25
5月	1,400	1,364	1,394	102.2%	1,300	41
6月	800	746	1,021	136.9%	996	30
7月	2,600	2,928	2,524	86.2%	2,466	78
8月	3,000	2,492	3,301	132.5%	3,156	105
9月	1,300	1,142	1,451	127.1%	1,308	34
上半期計	11,400	10,220	11,646	113.9%	11,063	313
10月	1,300	1,295	1,200	92.7%	1,308	33
11月	1,000	984	1,586	161.2%	1,168	41
12月	1,800	899	1,422	158.2%	1,519	38
1月	1,000	592	860	145.2%	1,343	25
2月	1,000	486	586	120.6%	851	24
3月	2,500	1,907	2,179	114.3%	566	59
下半期計	8,600	6,163	7,833	127.1%	6,755	220
合計	20,000	16,383	19,479	118.9%	17,818	533

外国人利用者:2025年度 1,694人(前年比95.4%) 2024年度 1,775人

日本人利用者:2025年度 17,785人(前年比121.7%) 2024年度 14,608人

団体:2025年度 553組 17,818人 構成比91.5%(前年比114.1%) 2024年度 462組 15,617人 構成比95.3%

個人:2025年度 1,661人 構成比8.5%(前年比216.8%) 2024年度 766人 構成比4.7%

予約サイトからの予約件数: 2025年度 99件 305人 2024年度 107件 323人

加盟予約サイト: 楽天トラベル、じゃらん

2018年度上期利用者数 16,303人 2025年度対2018年度比81%

羽衣青少年センター(貸室)

(単位:室数、%、人)

	利用室数	前年比	利用率	利用人数	目標人数
4月	1,644	103.1%	17.5%	15,661	9,330
5月	1,816	86.2%	18.7%	9,779	13,040
6月	1,414	71.6%	15.0%	7,320	10,530
7月	1,151	95.2%	11.8%	6,548	5,520
8月	1,544	93.9%	15.9%	6,983	8,480
9月	967	88.5%	10.3%	6,561	5,720
上半期計	8,536	88.7%	14.9%	52,852	52,620
10月	1,156	82.5%	11.9%	6,340	7,550
11月	1,443	163.7%	15.3%	7,007	4,590
12月	1,467	155.7%	11.7%	5,896	3,380
1月	577	101.7%	6.6%	6,538	1,780
2月	690	106.8%	7.8%	3,154	3,310
3月	1,795	100.6%	18.4%	14,317	8,270
下半期計	7,128	114.5%	12.0%	43,306	28,880
合計	15,664	99.3%	13.4%	96,158	81,500

利用室数 : 2025年度 15,633室(前年比99.3%) 2024年度 15,766室

利用人数 : 2025年度 96,158人(前年比111.1%) 2024年度 86,558人

2018年度利用室数 17,786室 2025年度対2018年度比88.1%

2018年度利用人数 82,983人 2025年度対2018年度比86.3%

や延期に伴う学校の利用も一定程度戻り、下半期では前年度比約106%と前年を上回りました。

主催・自主事業については年間を通じてほぼ計画どおり実施できました。特に「流しそうめん体験」や「たき火を楽しもう」などの季節型事業は安定的に参加者が集まりました。また、「第40回オープンデー」では1,139人の参加がありました。加えて、府教育委員会等と連携した出前プログラムの実施により、継続した施設外での活動を展開、地域との関係維持も活発に行いました。

管理運営面では、空調・照明・厨房設備・水回り等の更新および修繕を計画的に実施し、安全性と利用環境の維持向上を図るとともに、各種法定点検や保守管理を着実に実施しました。また、職員研修や関係機関との連携も継続し、運営体制の維持・強化に努めました。

2025年度は10年間の指定管理期間の最終年度にあたり、次期指定管理者の公募がありました。私共もこれに応募し、選定されました。これにより次の10年間においても引き続き大阪府立少年自然の家運営を担うこととなりました。これまでの運営実績や取組みが一定の評価を得たものと認識し、さらなる発展に取り組んでまいります。

① 会議・研修・渉外等

- ・近畿地区青少年の家等連絡協議会出席(4月) 1人 久保所長
- ・少年自然の家職員全体会議(運営方針・安全管理体制・事業計画等の説明・共有)
(4月・9月・1月・3月)
- ・少年自然の家運営会議(5月・9月・12月・2月)
- ・ツリークライミング職員研修(5月) 2人 高田・中島
- ・衛生管理講習会(岸和田保健所)(6月) 職員等12人
- ・大阪府教育委員会教育長視察(6月)
- ・大阪府青少年活動財団職員全体研修(6月) 3人 篠坂副所長・吉永・和辻
- ・次期指定管理者応募にかかる現地説明会(9月)
- ・和歌山県子ども未来課施設見学受け入れ(10月)
- ・消防訓練(10月・3月)
- ・インターン生受入開始(10月)
- ・日本ユースホステル協会主催日独指導者セミナー受入れ・ドイツユースホステル協会(11月)
- ・近畿地区青少年教育施設協議会・所長研修(12月) 1人 久保所長
- ・岸和田保健所・給食研究会・衛生講習(12月) 4人 井上・川本・眞鍋・中島
- ・貝塚警察署・テロ対策説明会(12月) 1人 久保所長
- ・ネイチャーゲームリーダー養成講座受講(1月) 2人 赤木・中島
- ・野外活動指導者養成講習会受講 静岡県立朝霧野外活動センター(2月) 1人 篠坂副所長
- ・大阪府青少年活動財団職員・人権研修(2月) 3人 篠坂副所長・吉永・和辻
- ・大阪府・評価委員会(2月) 2人 久保所長・篠坂副所長
- ・大阪ユースホステル協会職員全体研修および人権研修(2月) 職員等7人
- ・大阪府青年の家等連絡協議会総会・枚方市野外活動センター(2月) 3人 久保所長・吉永・和辻
- ・貝塚市「ゆったりウォーク」協力(3月)

えほんのひろば(2月)	参加604人(予定150人)
<自主事業>	
GW お泊りパック(4~5月 計10回 ※6回分応募なし)	参加 80人(実施4回分)(予定30人)
GW 日帰りパック(5月)	参加 4人(追加開催)
親子 de しぜんのようちえん(5・7・11・1月 計4回)	参加100人(予定各回30人)
ガーデンイベント②ホテルのタベ(5~6月 計4回 ※1回中止)	参加 93人(予定各回30人)
フォレストジュニアクラブ(6・9・12・3月 計4回)	参加115人(予定各回30人)
もりのこクラブ(6・8・11・3月 計4回)	参加115人(予定各回15人)
こどもシャワークライミング(7月2回)	参加 50人(予定各回30人)
ガーデンイベント③流しそうめん体験(8月10回)	参加347人(予定各回30人)
おとなのえんそく(8・11月 計2回)	参加 19人(予定各回12人)
秋のお泊りパック(9・11月 計4回 ※1回中止)	参加 43人(実施3回分)
ファミリーキャンプ(10月2回)	参加 83人(予定各回30人)
第36回 乗馬体験と臨床動作法(10月)	参加 29人(予定25人)
第18回大阪府アドプトフォレスト(11月)	参加 66人(予定50人)
ガーデンイベント④自然をまるかじり・ダッジオープン(12月2回)	参加 52人(予定各回30人)
クリエイターキャンプ(12月)	参加 12人(予定20人)
冬のお泊りパック(1~2月 計4回)	参加 76人(予定各回30人)
たき火を楽しもう(1~3月 計4回)	参加312人(予定各回50人)
指導者養成講座(1月)	参加 10人(予定10人)
第40回オープンデー(2月)	参加1,139人(予定550人)

<出前授業>

・地域連携

羽曳野市教育委員会・放課後教室担当者会議デモンストレーション(5月)	参加31人
泉ヶ丘ライブタウン会議スラックラインブース出展(6月・10月)	参加延べ427人

・おおさか元気広場 出前プログラム

11月 小学校3校 参加133人	高槻市・磐手小学校、羽曳野市・高鷲小学校、羽曳野市・はびきの埴生学園
12月 小学校3校 参加61人	門真市・五月田小学校、門真市・門真みらい小学校、門真市・速見小学校
1月 河南町教育委員会 参加17人	小学校3校 参加102人
	泉佐野市・北中小学校、門真市・大和田小学校、門真市・四宮小学校
2月 小学校1校 参加18人	門真市・水桜小学校

⑤ ボランティアリーダーの活動

・そぶらリーダー(事業補助・活動の指導)	登録者35人
そぶらリーダー研修(6・10・2月 計3回)	参加33人(予定各回10人)

集会室利用状況

(単位:室数、%、人)

	利用室数	前年比	利用率	利用人数	目標人数
4月	105	94.6%	29.1%	1,746	1,600
5月	113	96.6%	30.6%	1,627	1,500
6月	121	103.4%	33.5%	2,122	1,500
7月	114	105.6%	31.7%	1,620	1,800
8月	155	203.9%	43.1%	2,306	2,000
9月	116	106.4%	32.3%	1,443	1,800
上半期計	724	113.5%	33.4%	10,864	10,200
10月	131	115.9%	36.4%	1,525	1,500
11月	138	142.3%	38.4%	1,938	1,500
12月	109	82.0%	30.2%	2,042	1,800
1月	151	128.0%	42.0%	1,890	1,200
2月	156	102.0%	43.4%	1,792	1,200
3月	104	167.7%	28.8%	1,692	1,800
下半期計	789	116.7%	36.5%	10,879	9,000
合計	1,513	115.1%	35.0%	21,743	19,200

利用室数 : 2025 年度 1,513 室(前年比 115.1%) 2024 年度 1,314 室
 利用人数 : 2025 年度 21,743 人(前年比 98.7%) 2024 年度 22,034 人

③ 施設管理・運営

- ・エレベーター保守 ・環境衛生害虫防除
- ・AED の動作点検(毎月)
- ・給湯ボイラー設備点検(6月)
- ・水質検査12項目と16項目(6月)
- ・消防設備点検(6月・12月)
- ・自動ドア保守点検(6月・10月・2月)
- ・消防避難訓練の実施(6月・12月)
- ・浴槽循環ろ過装置保守点検(9月・2月)
- ・浴槽循環配管の薬品洗浄・水質検査4項目(9月)
- ・地震避難訓練の実施(9月)
- ・事務所内給湯器更新・PC4台を Windows11 に更新(9月)
- ・貯湯タンク・受水槽の洗浄点検(10月)
- ・浴槽シャワー器具の交換(11月)
- ・レジオネラ属菌の水質検査(11月)
- ・浴室ろ過ポンプ2台更新(11月)
- ・水質検査11項目(12月)
- ・空調機械薬品洗浄(3月)
- ・シングルと和室ファミリールームのユニットバス更新(3月)